

家表法などで勉強会

東京ネクタイ協同組合(和田匡生理事長)は、繊維評価技術協議会の鷲見繁樹氏を講師に招き、「家表法と新表示記号体系」をテーマに都立産業技術研究センターで勉強会を開いた。組合員など30人が参加した。

家庭用品品質表示法の一部改正に伴い、12月1日からケアラベルの絵表示が国



際規格の表示に変更される。JIS(日本工業規格)とISO(国際標準化機構)規格の整合化の背景には「輸入障壁ではないか」という他国からの指摘などがあった。鷲見氏によると新JIS L0001の注意すべき点として商業クリーニングも範囲になり、ウェットクリーニングも追加された。新JISの表示方法は五つの基本記号と7種の記号からなる。施行日までに現行の表示したものは施行後も販売可能だが、納品時に在庫品とみなされる恐れがあるという。